

□建物名称

大阪ガスビル（南館）



□建物概要

竣工年月：1933年（昭和8年）3月17日（竣工披露式3月27日）

構造規模：地下2階 地上8階 延床面積：18,422 m²

用途：大阪ガス株式会社本社ビル <http://www.osakagas.co.jp/gasbuil>

設計：安井武雄建築事務所

（現）株式会社 安井建築設計事務所 <http://www.yasui-archi.co.jp>

施工：株式会社 大林組 <https://www.obayashi.co.jp>

□特徴

- ・御堂筋の完成（1937年（昭和12年）以前に竣工した本建物は、御堂筋の都市景観をリードしてきた存在である
- ・設計者の安井武雄は、大阪倶楽部、高麗橋野村ビル、東京日本橋野村ビルの設計を手がけたことで有名
- ・従来の様式にとらわれないデザインは「自由様式」とよばれている
- ・都市ガスによる明るく近代的な生活をPRする機能として、1階2階をショールームとして市民に開放するとともに、8階にはガスビル食堂（今も営業中）を設けて、ガスの普及を図っている
- ・発注者である大阪ガス会長片岡直方（なおまさ）の、1ブロック1建物の願いは、約30年後の北館増築時（1966年（昭和41年））に達成された

□都市軸の回転

- ・御堂筋開通までの大阪の都市軸は、お城に向かう東西軸が主であったが、南北の鉄道ターミナル整備とそれらを相互に繋ぐ御堂筋の開通は、大阪の都市軸を南北軸に変えるきっかけとなった
- ・両軸の交点に出現したガスビルは、「大阪の都市軸を90度回転させる磁石になります。（中略）その東南角の曲面壁には時代を先取りするメッセージが宿りました。」（佐野吉彦 生きた建築大阪 株式会社 140B 発行 p15より）

□大阪ガスビルの歴史（大阪ガス HP より）

1930（昭和5年）	4.10	ガスビル地鎮祭	 <p>1933</p>
1933（昭和8年）	3.17	竣工（3.27・28開館）	
	3.29	ガスビル食堂開業	
	5.20	大阪地下鉄開業（梅田ー心斎橋間）	
1935（昭和10年）	1.16	地下1階実演即売街開業	
1936（昭和11年）	10.-	地下1階グリル新設	
1937（昭和12年）	5.11	御堂筋完成	
1941（昭和16年）	12.8	太平洋戦争勃発	
1942（昭和17年）	2.～10.	金属供出（屋上ネオン塔、階段手摺り等）	
1943（昭和18年）	4.～12.	金属供出（エレベーター2機、エスカレーター等）	
1944（昭和19年）	8.-	本館外装をコールタールで迷彩	
1945（昭和20年）	3.13-14	大阪大空襲7階料理講習室・8階食堂一部罹災	
	8.15	終戦（9.2降伏文書に調印）	
	10.4	進駐軍が2階講演場と6階以上等を接收	
1949（昭和24年）	5.～10	外装タイル迷彩塗装を洗浄	 <p>1966</p>
1952（昭和27年）	5.22	進駐軍接收解除	
	12.1	ガスビル食堂営業再開	
1964（昭和39年）	8.12	ガスビル北館地鎮祭	
1965（昭和40年）	4.3	2階講演場廃止	
1966（昭和41年）	8.10	北館竣工	
1970（昭和45年）	3.14	大阪で日本万国博覧会開催（～9.13）	
1979（昭和54年）	5.7	料理講習室7階から1階へ移設	
1995（平成7年）	1.17	阪神・淡路大震災	
2001（平成13年）	9.25	大阪ガス本社ガスビルとしてISO14001の認証取得	
2002（平成14年）	12.6	登録有形文化財として文化審議会が文科相に答申	
2003（平成15年）	3.17	ガスビル竣工70周年、登録有形文化財に登録	



1933 竣工時

1932 建設中の御堂筋とガスビル
（写真：（財）大阪都市協会）



ガスビル食堂
窓からは大阪城が見える



ガス器具が展示された
1Fショーウィンドウ



ガス料理講習室



理髪場



2F講演場 映画試写会・コン
サート・漫才など開催された